【授業科目】家族看護学　Family Nursing

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
藤井 夕香、増田 由美 春名 誠美、杉崎 一美	２年次 後　期	選択	1	１５	講義	あり	巻末 掲載	可

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／家族看護に関する定義や家族を理解するための理論について講義します。事例を通して個人およびグループで家族の抱える健康問題についてアセスメントし、家族が主体的に健康問題を解決するための支援について考えを深めていく。適宜授業資料を配布して行う。課題は直接提出か、Forms などを活用する。 課題に対するフィードバック方法／提出されたリアクションペーパー及び課題レポートに対して、全体の傾向や今後の課題について授業で全体の総評を述べる。授業内でフィードバックが難しい場合は、メール等にて対応する。
実務経験に関する 授業内容	家族看護学に関する臨床経験をもつ教員が、家族看護の特徴と理念、家族看護学を支える理論、看護展開の方法について、視聴覚器材や経験を交えながら指導する。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から看護の役割を考え、実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①看護の対象としての家族の特性がわかる。 ②家族を１つの単位として捉える意義がわかる。 ③家族を理解するための諸理論がわかる。 ④事例を通して家族の情報収集と家族看護アセスメントができる。 ⑤事例を通して家族の健康問題を抽出し支援について述べることができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	第１回事前学習：第 1～2 章、家族看護学とは何かを読んでおく。（2 時間） 第 2～8 回事前学習：第 3～5 章、それぞれ家族看護の実践内容を読んでおく。（各 2 時間） 第 1～8 回事後学習：講義内容に関する課題を課す。（各 2 時間） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第１回　家族の定義、日本の家族の動向、家族に関する理論、家族看護過程について学ぶ。 第２回　発達段階（小児）における家族看護過程について学ぶ。 第３・４回　発達段階（成人）における家族看護過程について学ぶ。 第５・６回　発達段階（老年）における家族看護過程について学ぶ。 第７・８回　発達段階（在宅・地域）における家族看護過程について学ぶ。 事例を通しての理論の活用、家族の健康問題、援助方法について考える。 （グループワーク、グループディスカッション）	第１回 藤井 第２回： 増田 第3、4回： 杉崎 第5、6回： 藤井 第7、8回： 春名

評価方法 評価基準	レポート（90%）、授業態度（10%）で総合的に評価する。		
教科書	上別府圭子他　『家族看護学』医学書院	参考書等	講義の中で興味深い書籍、文献を紹介する。
学生への 助言等	本科目は、地域や病院などあらゆる場面の看護に必要です。講義やグループワークに積極的に参加し学修されることを期待します。		